

優秀発表賞の考え方と審査方法

日本繁殖生物学会
学術集会等検討委員会
(プログラム委員会に名称変更予定)

優秀発表賞は、大会長がその大会で発表される演題について授与する賞です。選考に際しては、大会で発表される演題について透明性をもった評価基準とシステムによって決定し、最終的には、大会長が一連のシステムから導き出された評点をもとに、学会理事長の承認を得て大会長と理事長の連名で授与することになります。

優秀発表賞に選ばれた方には、賞状、賞品およびJRDのmini-reviewを書く権利が与えられます。

【優秀発表賞への3つの提言（帯広大会における提言を継承）】

優秀発表賞は、完全に「開かれた選考」によって受賞者を決定しようとするものです。そのためには、選考基準は誰にでも解る明瞭なものが必要です。同時にすべての審査員は、選考理由について明確に説明できなければなりません。大会初日に設定されている二次審査の場では、聴衆は誰もが優秀発表賞の選考に参加している実感をもてるような雰囲気が大切だと考えます。この場は、発表者、審査員、聴衆にとって真剣な舞台であり、新しい発見と学習の場であるはずです。以下に、3つのポイントとして優秀発表賞への考え方を記します。

- 1) 研究成果より研究過程を：多くの賞は成果によってのみ判断される傾向があります。優秀発表賞では、むしろ成果に至るまでの過程（アイデア、研究の組み立て方など）を重視することで、研究の進め方に光を当てたいと思います。最近、研究の進め方を学ぶ機会は意外に限られてきています。優秀発表賞の選考過程が、様々な分野の‘探求する心’を刺激し、学ぶ場となればと期待します。
- 2) どの研究分野からも応募できる：莫大な予算が必要な基礎研究もある一方で、現場の些細な観察の集積から生まれる研究もあります。本優秀発表賞は研究分野や組織・資金にかかわらず誰もが応募できるような賞であることが重要だと考えます。
- 3) わかりやすい発表を：本学会は基礎から応用・臨床まで幅広い分野の人々で構成されています。違う分野の人が興味をなくしてしまうような発表スタイルではなく、未知の分野に興味をかきたてられるような、あるいは自分の専門分野との繋がりにはっとするような、わかりやすい発表スタイルを求めています。

【採点基準】

採点は技術点（経験による技術の向上が期待できるもの：方法、結果、スライド、全体のバランスなど）と思考点（アイデア、理解の深さなど：オリジナリティ、イントロ、考察、結論、発表、質疑応答）を考慮して行います。優秀発表賞口頭発表部門への応募は、通常の2倍の字数の専用の要旨の提出を義務づけています。上記の7分野別に責任者を核に5～6名程度の委員によって論文タイトルと要旨内容だけを基に（著者と所属は伏せて）書類選考が行われ、6演題（予定）を選出します。これらの6題が、学会初日のコンペで発表時に学会評議員に審査され、それらの評点をもって大会長が受賞者を決定します。この際、審査員はすべての発表の評点を行わなければなりません。従って、発表者はどの分野の研究者や大学院生にも興味を喚起し、理解できるプレゼンを求められます。優秀発表賞ポスター

部門への応募は、学会発表の入門的な意味合いを考慮して、若い研究者が容易に応募できるように、一次審査なしとしました。ポスター発表当日に審査員による審査が、同様な審査基準で行われます。受賞対象枠は、現時点では口頭発表部門では1～2題、ポスター発表部門では最大3題を想定しています。以下に、今回の評点の項目と配点を列記しますので、応募予定者の方々は参考にして下さい。各項目は、それぞれ5：とても優れている、4：優れている、3：標準的である、2：やや不十分である、1：不十分である、の5段階評価に分けられます。

講演要旨（口頭発表部門一次審査）

●オリジナリティ

- ✓ 独創性（15points）：研究対象や仮説、得られた結果の解釈が独創的であるか？（目の付けどころと理論の組み立て）
- ✓ 創造性（15p）：実験手法を含め問題へのアプローチに工夫が見られるか？

●イントロダクション

- ✓ 問題提起（10p）：限られたスペースで適確に問題提起がされているか？
- ✓ 目的設定（5p）：目的は明確で的を射たものか？

●方法

- ✓ 実験計画（5p）：適確で無駄のない計画か？
- ✓ 実験手法（5p）：信頼できる実験手法か？方法を十分理解しているか？
- ✓ 解析方法（5p）：結果を正しく、目的に沿って解析しているか？

●結果と考察

- ✓ 結果（5p）：結果が分かりやすく提示されているか？
- ✓ 考察（15p）：結果と整合性のある考察か？

●結論

- ✓ 全体構成と結論（20p）：設定された目的に対して整合性のある結論か？

口頭発表（口頭発表部門二次審査）

●発表

- ✓ 研究の質（20p）：質の高い内容か？
- ✓ 口頭発表（20p）：分かりやすい発表か？（表現力など）
- ✓ スライド（10p）：分かりやすいスライドか？（見やすさなど）
- ✓ バランス（10p）：各セクション（イントロ、方法、など）のバランス
- ✓ 要旨との整合性（20p）：要旨とのコーディネーション（要旨と発表内容が補完しあっているか？）

●質疑応答

- ✓ 質問に対する対応（20p）：質問に適確に答えられるか？
※講演10分、質疑応答5分とします。

ポスター発表

●ポスター

- ✓ 研究の質（50p）：質の高い内容か？口頭発表部門一次審査基準に準じます。
- ✓ テキスト（10p）：適確で分かりやすいか？
- ✓ 図表（10p）：必要な情報が適確に分かりやすく提示されているか？
- ✓ バランス・要旨との整合性（10p）：各セクション（イントロ、方法、など）のバランス、

要旨との整合性

● 質疑応答

- ✓ 質問に対する対応 (20p) : 質問に適確に答えられるか?

名古屋大会に引きつづき、優秀発表賞の応募メ切日を一般講演要旨のメ切日と同日にしました(メ切日は7月24日です)。優秀発表賞の口頭発表部門の応募には、これまで通り講演要旨に加えて優秀発表賞書類選考用要旨を提出していただきますが、ポスター部門には、学会初心者の方にも応募していただけるように、オンライン登録画面上でボタンをクリックしてもらうだけで応募できるようにしました。

32歳以下の方で、2005年度以降に優秀発表賞を受賞された方以外の方であれば、どなたでも応募できます。東京大会へのみなさまのご参加、若手の皆さんの優秀発表賞への応募を心からお待ちしています。